科目名	アドバンスレッスン２							年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ギター) 2年次	必／選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	宍倉 聖悟/鳥居 隼/篠崎 保/渡辺 真義/鈴木 一義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バッキング等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「マスターインストラクター」「DTM」の8つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン1」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

A.各種スケールを習得できる
B.DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できる
C.Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられる
D.インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
E.アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	各種スケールを習得でき、実際に活用できる		各種スケールを習得できる		各種スケールを習得できない
到達目標 B	DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得でき、実際に活用できる		DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できる		DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できない
到達目標 C	Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられ、ベストパフォーマンスできる		Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられる		Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	アドバンスレッスン２	年度	2026
英語表記	Advanced lesson 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	楽器研究	機材に関する様々な知識を学ぶ	1	木材の種類	木材の種類と特徴について理解できる		
			2	ピックアップ	ピックの種類と特徴について理解できる		
			3	ピックの種類	ピックの種類と特徴について理解できる		
2	インプロビゼーション①	様々なスケールを学ぶ①	1	イオニアン	イオニアンスケールについて理解できる		
			2	ドリアン	ドリアンスケールについて理解できる		
			3	フリジアン	フリジアンスケールについて理解できる		
3	インプロビゼーション②	様々なスケールを学ぶ②	1	リディアン	リディアンスケールについて理解できる		
			2	ミクソリディアン	ミクソリディアンスケールについて理解できる		
			3	エオリアン	エオリアンスケールについて理解できる		
4	インプロビゼーション③	様々なスケールを学ぶ③	1	ロクリアン	ロクリアンスケールについて理解できる		
			2	HMP5↓	HMP5↓スケールについて理解できる		
			3	その他7thスケール	その他7thスケールについて理解できる		
5	インプロビゼーションアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	テーマ	課題曲のテーマを演奏できる		
6	インプロビゼーションアンサンブル②	アドリブソロの構築を学ぶ	1	ソロ	楽曲に適したアドリブソロを演奏できる		
			2	展開	アドリブソロの展開を構築できる		
			3	合図	進行の合図を理解できる		
7	インプロビゼーションアンサンブル③	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	自分の音だけでなく周りの音も意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
8	DTM①	補正系エフェクトを活用する	1	イコライザー	イコライザーの使い方について理解できる		
			2	コンプレッサー	コンプレッサーの使い方について理解できる		
			3	ドライブ系	ドライブ系の使い方について理解できる		
9	DTM②	空間系エフェクトを活用する	1	リバーブ	リバーブの使い方について理解できる		
			2	ディレイ	ディレイの使い方について理解できる		
			3	センドリターン	センドリターンの使い方について理解できる		
10	DTM③	エクスポートの種類を学ぶ	1	ファイル形式	ファイル形式の種類について理解できる		
			2	サンプリングレート	サンプリングレートの種類について理解できる		
			3	ビットレート	ビットレートの種類について理解できる		
			1	課題曲指導	課題曲の構成を理解できる		

11	マスターインストラクター①	レコーディング実習	2	レコーディング	実際にレコーディングできる		
			3	プレイバック	プレイバックして演奏を反省できる		
12	マスターインストラクター②	Real Dreams演奏指導	1	楽曲指導	演目の楽曲の構成を理解できる		
			2	ソロパート指導	演奏するソロフレーズを作成できる		
			3	グルーヴ指導	楽曲のグルーヴを改善できる		
13	マスターインストラクター③	Real Dreams演目指導	1	レコーディング	音源を完成できる		
			2	パフォーマンス指導	パフォーマンスを改善できる		
			3	全体練習	全体練習でパフォーマンスを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン２							年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科サウンドクリエイターコース 2年次	必／選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	田熊知存/川島基宏/須藤直也/杉山航平/古峰拓真/下條慧		教員の実務経験		有	実務経験の職種		作編曲家	

【科目の目的】

プロの作曲家、アーティストになるための知識とスキルを得ることを目的とする。
1年次は基礎知識を中心に自分が作りたい楽曲と向き合い、作曲に必要な技術の土台を形成する。
座学と実技を複合的に捉え、音として再現していくためにどのような思考が必要なのかを個々で能動的に考えられるように、各授業の講師が手助けをしていく。
卒業発表会でフルコーラスの楽曲を作ること、卒業制作用の楽曲を揃え、リリースすることを目標とする。

【科目の概要】

作曲に必要な知識を学ぶための総合的な授業。「作曲ゼミ（週２コマ）」「作曲法」「ミックス」「アレンジ」「楽器レッスン」「コードアナライズ」「卒業制作（週２コマ）」の８つの授業で構成される。
下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。
作曲ゼミは個人レッスン、他の授業は全体授業である。

【到達目標】

A.ノンダイアトニックを用いながらコード進行を作成できる
B.メロディを作成できる
C.楽曲のミックスができる
D.楽曲のアレンジができる
E.フルコーラスのボーカル楽曲を作成できる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	機能を考えた上ですべてのコード進行を自分で作成できる		講師の手を借りてコード進行を作成できる		コード進行を作成できない
到達目標 B	全てのメロディを一人で作成できる		講師の手を借りてメロディを作成できる		メロディを作成できない
到達目標 C	適切なボリュームバランスを設定し、用途を言語化できる上でエフェクトを使うことが		ボリュームバランスが取れるがエフェクトは掛け方が分からない。		ボリュームバランスが取れず、エフェクトも掛けられない
到達目標 D	4rhythmアレンジができ、更に楽器を足したアレンジができる		4rhythmアレンジができる		4rhythmアレンジができない
到達目標 E	ボーカルRECを行った上でフルコーラスの楽曲を作成できる		ガイドメロでフルコーラスの楽曲を作成できる		フルコーラスの楽曲を作成できない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	アドバンスレッスン２	年度	2026
英語表記	Advanced lesson 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック②	長期休暇後のレベルチェック	1	コース講師評価	新たな知見を得ることができる		
			2	自己評価	前期の反省を生かすことができたかを確認できる		
			3	目標設定	評価を踏まえ、後期の目標を設定する		
2	楽器レッスン①	実践	Vo	自作曲の歌唱	自作曲の歌についての見解を得る		
			Gt	単音フレーズ	ギターの単音フレーズの運指を理解する		
			Pf	単音フレーズ	ピアノの単音フレーズの運指を理解する		
3	楽器レッスン②	実践	Vo	自作曲の歌唱	自作曲で必要な歌い方を理解する		
			Gt	カッティング	カッティングの方法について理解する		
			Pf	リズム	リズムの刻み方について理解する		
4	楽器レッスン③	実践	Vo	自作曲の歌唱	発表形式で自作曲を歌唱する		
			Gt	ソロフレーズ	ソロフレーズの作り方を理解する		
			Pf	ソロフレーズ	ソロフレーズの作り方を理解する		
5	卒業制作①	制作フォーマット確定	1	楽曲数ジャンル	収録曲について構想を決める		
			2	ジャケット	ジャケットの構想と制作方法を決める		
			3	コンセプト	アルバムコンセプトについて決める		
6	卒業制作②	制作	1	楽曲制作	楽曲制作を行う		
			2	進捗確認	スケジュールにと進捗の確認を行う		
			3	中間発表	中間発表を行い、次のステップを明確にできる		
7	卒業制作③	制作	1	楽曲制作	中間発表で得た知見を活かし制作を行う		
			2	データ確認	納品データの確認を行う		
			3	リリース	サブスクライブサイトにアップロードを行う		
8	作曲ゼミ①	ヒアリング	1	講師面談	制作したい曲について講師と話し合う		
			2	リファレンス	リファレンスを提示する		
			3	制作目標	制作にあたり、クリアすべき課題を考える		
9	作曲ゼミ②	制作	1	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			2	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			3	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
10	作曲ゼミ③	制作	1	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			2	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			3	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			1	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		

11	作曲ゼミ④	制作	2	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			3	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
12	作曲ゼミ⑤	制作	1	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			2	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			3	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
13	作曲ゼミ⑥	ヒアリング	1	講師面談	卒業後にすべきことを明確にする		
			2	将来設計	卒業後数年の計画を立てる		
			3	卒業発表準備	卒業発表用の楽曲を仕上げる		
14	発表会準備	卒業発表会に向けて楽曲を仕上げる	1	メロ、コード進行	メロとコード進行の整合性が取れる		
			2	ミックス	FX、ボリュームバランスについて調整ができる		
			3	アレンジ	各楽器のアレンジができる		
15	卒業発表会	１年間で得た技術で楽曲を作製する。（フルコーラス）	1	プレゼンテーション	自分の楽曲について説明ができる		
			2	知識、技術	各授業で得た知識、技術を楽曲に活かすことができる		
			3	講師評価	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン２							年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ベース) 2年次	必／選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	上野 一郎/橋本 佳紀/鈴木 一義/渡辺 具義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バッキング等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「マスターインストラクター」「DTM」の8つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン1」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

A.各種スケールを習得できる
B.DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できる
C.Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられる
D.インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
E.アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	各種スケールを習得でき、実際に活用できる		各種スケールを習得できる		各種スケールを習得できない
到達目標 B	DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得でき、実際に活用できる		DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できる		DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できない
到達目標 C	Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられ、ベストパフォーマンスできる		Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられる		Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	アドバンスレッスン２	年度	2026
英語表記	Advanced lesson 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	楽器研究	機材に関する様々な知識を学ぶ	1	木材の種類	木材の種類と特徴について理解できる		
			2	ピックアップ	ピックの種類と特徴について理解できる		
			3	ピックの種類	ピックの種類と特徴について理解できる		
2	インプロビゼーション①	様々なスケールを学ぶ①	1	イオニアン	イオニアンスケールについて理解できる		
			2	ドリアン	ドリアンスケールについて理解できる		
			3	フリジアン	フリジアンスケールについて理解できる		
3	インプロビゼーション②	様々なスケールを学ぶ②	1	リディアン	リディアンスケールについて理解できる		
			2	ミクソリディアン	ミクソリディアンスケールについて理解できる		
			3	エオリアン	エオリアンスケールについて理解できる		
4	インプロビゼーション③	様々なスケールを学ぶ③	1	ロクリアン	ロクリアンスケールについて理解できる		
			2	HMP5↓	HMP5↓スケールについて理解できる		
			3	その他7thスケール	その他7thスケールについて理解できる		
5	インプロビゼーションアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	テーマ	課題曲のテーマを演奏できる		
6	インプロビゼーションアンサンブル②	アドリブソロの構築を学ぶ	1	ソロ	楽曲に適したアドリブソロを演奏できる		
			2	展開	アドリブソロの展開を構築できる		
			3	合図	進行の合図を理解できる		
7	インプロビゼーションアンサンブル③	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	自分の音だけでなく周りの音も意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
8	DTM①	補正系エフェクトを活用する	1	イコライザー	イコライザーの使い方について理解できる		
			2	コンプレッサー	コンプレッサーの使い方について理解できる		
			3	ドライブ系	ドライブ系の使い方について理解できる		
9	DTM②	空間系エフェクトを活用する	1	リバーブ	リバーブの使い方について理解できる		
			2	ディレイ	ディレイの使い方について理解できる		
			3	センドリターン	センドリターンの使い方について理解できる		
10	DTM③	エクスポートの種類を学ぶ	1	ファイル形式	ファイル形式の種類について理解できる		
			2	サンプリングレート	サンプリングレートの種類について理解できる		
			3	ビットレート	ビットレートの種類について理解できる		
	マスターイン		1	課題曲指導	課題曲の構成を理解できる		

11	ストラクター①	レコーディング実習	2	レコーディング	実際にレコーディングできる		
			3	プレイバック	プレイバックして演奏を反省できる		
12	マスターインストラクター②	Real Dreams演目指導	1	楽曲指導	演目の楽曲の構成を理解できる		
			2	ソロパート指導	演奏するソロフレーズを作成できる		
			3	グルーヴ指導	楽曲のグルーヴを改善できる		
13	マスターインストラクター③	Real Dreams演目指導	1	レコーディング	音源を完成できる		
			2	パフォーマンス指導	パフォーマンスを改善できる		
			3	全体練習	全体練習でパフォーマンスを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン２							年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ドラム) 2年次	必／選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	麻生 祥一郎/崎村 純弥/堀越 彰/山口 岳/藤本 健一/鈴木 一義/渡辺 具義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バッキング等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「マスターインストラクター」「DTM」の8つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン1」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

A. ドラムソロとバッキングの技術を習得できる
B. DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できる
C. Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられる
D. インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	ドラムソロとバッキングの技術を習得でき、実際に活用できる		ドラムソロとバッキングの技術を習得できる		ドラムソロとバッキングの技術を習得できない
到達目標 B	DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得でき、実際に活用できる		DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できる		DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できない
到達目標 C	Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられ、ベストパフォーマンスできる		Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられる		Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	アドバンスレッスン２	年度	2026
英語表記	Advanced lesson 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	楽器研究	ドラムについてより深く理解する	1	各年代のサウンド	各年代ごとのサウンドの特徴を理解できる		
			2	スティックの種類	スティックによるサウンドの変化を理解できる		
			3	インチの種類	ドラムのインチ数とその特徴を理解できる		
2	インプロビゼーション①	基礎演奏力の向上	1	ダイナミクス	ダイナミクスのコントロールができる		
			2	シンコペーション	シンコペーションを安定して叩ける		
			3	グルーヴ	前ノリ、後ノリなどのグルーヴを使い分けられる		
3	インプロビゼーション②	アンサンブルの意識を学ぶ	1	バッキング	アドリブ奏者を意識してバッキングできる		
			2	コール&レスポンス	ソロフレーズに対して呼応するフレーズを叩ける		
			3	ドラマ性	楽曲全体の構成を意識した演奏ができる		
4	インプロビゼーション③	オリジナリティを追求する	1	プレイスタイル	自身のプレイスタイルを発見し追求できる		
			2	独自のサウンド	サウンドの好みを発見し追求できる		
			3	パフォーマンス	パフォーマンスを意識した演奏ができる		
5	インプロビゼーションアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	テーマ	課題曲のテーマを演奏できる		
6	インプロビゼーションアンサンブル②	アドリブソロの構築を学ぶ	1	ソロ	楽曲に適したアドリブソロを演奏できる		
			2	展開	アドリブソロの展開を構築できる		
			3	合図	進行の合図を理解できる		
7	インプロビゼーションアンサンブル③	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	自分の音だけでなく周りの音も意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
8	DTM①	補正系エフェクトを活用する	1	イコライザー	イコライザーの使い方について理解できる		
			2	コンプレッサー	コンプレッサーの使い方について理解できる		
			3	ドライブ系	ドライブ系の使い方について理解できる		
9	DTM②	空間系エフェクトを活用する	1	リバーブ	リバーブの使い方について理解できる		
			2	ディレイ	ディレイの使い方について理解できる		
			3	センドリターン	センドリターンの使い方について理解できる		
10	DTM③	エクスポートの種類を学ぶ	1	ファイル形式	ファイル形式の種類について理解できる		
			2	サンプリングレート	サンプリングレートの種類について理解できる		
			3	ビットレート	ビットレートの種類について理解できる		
			1	課題曲指導	課題曲の構成を理解できる		

11	マスターインストラクター①	レコーディング実習	2	レコーディング	実際にレコーディングできる		
			3	プレイバック	プレイバックして演奏を反省できる		
12	マスターインストラクター②	Real Dreams演目指導	1	楽曲指導	演目の楽曲の構成を理解できる		
			2	ソロパート指導	演奏するソロフレーズを作成できる		
			3	グルーヴ指導	楽曲のグルーヴを改善できる		
13	マスターインストラクター③	Real Dreams演目指導	1	レコーディング	音源を完成できる		
			2	パフォーマンス指導	パフォーマンスを改善できる		
			3	全体練習	全体練習でパフォーマンスを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン２							年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(キーボード) 2年次	必／選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	金沢 法皇/田中 綾美/二本柳 一明/Ryuta/鈴木 一義/渡辺 具義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	

【科目の目的】

演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バッキング等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。

【科目の概要】

この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「マスターインストラクター」「DTM」の8つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン1」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。

【到達目標】

A.応用的なアドリブテクニックを習得できる
B.DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できる
C.Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられる
D.インプロ発表会でベストパフォーマンスができる
E.アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	応用的なアドリブテクニックを習得でき、実際に活用できる		応用的なアドリブテクニックを習得できる		応用的なアドリブテクニックを習得できない
到達目標 B	DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得でき、実際に活用できる		DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できる		DTMの応用知識(エフェクト、エクスポート)を習得できない
到達目標 C	Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられ、ベストパフォーマンスできる		Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられる		Real Dreamsの演奏楽曲を完成させられない
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標が設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	アドバンスレッスン２	年度	2026
英語表記	Advanced lesson 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	楽器研究	ジャンルや曲調の違いによるアプローチを学ぶ	1	ロック	ロックに適応する音色とフレージングを理解できる		
			2	バラード	バラードに適応する音色とフレージングを理解できる		
			3	ジャズ	ジャズに適応する音色とフレージングを理解できる		
2	インプロビゼーション①	クラシック理論(和声)に基づいたアプローチを学ぶ	1	和声について	クラシックにおける和声を理解できる		
			2	和声音	和声音について理解できる		
			3	非和声音	非和声音と音の装飾について理解できる		
3	インプロビゼーション②	ブルース、ジャズ、モードにおけるフレージングを学ぶ	1	ブルース	ブルーノートやリズムパターンを理解できる		
			2	ジャズ	テンションノートやリズムパターンを理解できる		
			3	モード	モードを理解し、スケールに対応した演奏ができる		
4	インプロビゼーション③	アドリブテクニック	1	非和声音フレーズ	非和声音を使ったアドリブができる		
			2	クロマチック	クロマチックアプローチを使ったアドリブができる		
			3	アウトフレーズ	アウトフレーズを使ったアドリブができる		
5	インプロビゼーションアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	テーマ	課題曲のテーマを演奏できる		
6	インプロビゼーションアンサンブル②	アドリブソロの構築を学ぶ	1	ソロ	楽曲に適したアドリブソロを演奏できる		
			2	展開	アドリブソロの展開を構築できる		
			3	合図	進行の合図を理解できる		
7	インプロビゼーションアンサンブル③	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	自分の音だけでなく周りの音も意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
8	DTM①	補正系エフェクトを活用する	1	イコライザー	イコライザーの使い方について理解できる		
			2	コンプレッサー	コンプレッサーの使い方について理解できる		
			3	ドライブ系	ドライブ系の使い方について理解できる		
9	DTM②	空間系エフェクトを活用する	1	リバーブ	リバーブの使い方について理解できる		
			2	ディレイ	ディレイの使い方について理解できる		
			3	センドリターン	センドリターンの使い方について理解できる		
10	DTM③	エクスポートの種類を学ぶ	1	ファイル形式	ファイル形式の種類について理解できる		
			2	サンプリングレート	サンプリングレートの種類について理解できる		
			3	ビットレート	ビットレートの種類について理解できる		
			1	課題曲指導	課題曲の構成を理解できる		

11	マスターインストラクター①	レコーディング実習	2	レコーディング	実際にレコーディングできる		
			3	プレイバック	プレイバックして演奏を反省できる		
12	マスターインストラクター②	Real Dreams演目指導	1	楽曲指導	演目の楽曲の構成を理解できる		
			2	ソロパート指導	演奏するソロフレーズを作成できる		
			3	グルーヴ指導	楽曲のグルーヴを改善できる		
13	マスターインストラクター③	Real Dreams演目指導	1	レコーディング	音源を完成できる		
			2	パフォーマンス指導	パフォーマンスを改善できる		
			3	全体練習	全体練習でパフォーマンスを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン２						年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 2						学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科ヴォーカリストコース 2年次	必／選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	尾崎 久美子/横山 愛実/大山 桂祐/MALIYA/大森 裕斗/三上 かおる/Haruna/鳥居 集/渡部 紗矢/田中 綾美/鈴木 一義		教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン他	

【科目の目的】

プロのボーカリストとして必要不可欠な基礎力を身につけ、アーティストとして自立するためのスキルを習得します。基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する知識を学び、シンガーソングライター、バンドボーカリスト、弾き語りなど一人ひとりのスタイルに合わせたトレーニングを実施。また、各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。

【科目の概要】

この授業は、ボーカリストとして必要なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「ボーカルレッスン1」「ボーカルレッスン2」「ボイストレーニング」「ボーカルアンサンブル1」「ボーカルアンサンブル2」「コーラス」「楽器レッスン」「DTM」の８つに分かれます。※下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「アドバンスレッスン1」も同様である。※楽器レッスンは「Dance」「Guitar」「Piano」の内一つを選択する。

【到達目標】

A.個性を活かしたオリジナル曲ができる
B.楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得できる
C.コーラスラインを自分で作ることができる
D.Real Dreamsに向けた音源を制作できる
E.発表会でベストパフォーマンスができる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	個性を活かしたオリジナル曲ができ、様々なテクニックを活用できる		個性を活かしたオリジナル曲ができる		個性を活かしたオリジナル曲ができない
到達目標 B	楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得でき、実際に活用できる		楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得できる		楽器レッスンの各専攻パートの応用的な技術と知識を習得できない
到達目標 C	様々なパターンのコーラスラインを作ることができる		コーラスラインを自分で作ることができる		コーラスラインを自分で作ることができない
到達目標 D	Real Dreamsに向けた音源を制作でき、オーディションに参加できる		Real Dreamsに向けた音源を制作できる		Real Dreamsに向けた音源を制作できない
到達目標 E	発表会でベストパフォーマンスでき、次の目標を設定できる		発表会でベストパフォーマンスできる		発表会でベストパフォーマンスできない

【教科書】

0

【参考資料】

毎回授業にて資料配布を行う
参考書・参考資料等は授業中に指示をする

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	アドバンスレッスン２	年度	2026
英語表記	Advanced lesson 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	機材知識	機材に関する知識を学ぶ	1	マイクの種類	マイクの種類について理解できる		
			2	マイクの指向性	マイクの指向性の違いを理解できる		
			3	ボーカルエフェクト	ボーカルエフェクトについて理解できる		
2	ボーカルレッスン2①	オリジナル曲指導	1	添削	メロディ、歌詞、構成をより良く改善できる		
			2	歌唱表現	個性を活かした歌唱表現ができる		
			3	パフォーマンス	ステージパフォーマンスができる		
3	ボーカルレッスン2②	アドリブテクニックを学ぶ	1	フェイク	フェイクの方法論を理解し実践できる		
			2	スキャット	スキャットの方法論を理解し実践できる		
			3	ラップ	ラップの方法論を理解し実践できる		
4	ボーカルレッスン2③	リズムグルーヴのコントロールについて学ぶ	1	ジャスト	ジャストのリズムで歌唱できる		
			2	プッシュ	プッシュのリズムで歌唱できる		
			3	レイドバック	レイドバックのリズムで歌唱できる		
5	楽器レッスン①	応用知識を学ぶ	Da	ステップ練習	応用的なステップができる		
			Gt	アルペジオ奏法	アルペジオ奏法を習得できる		
			Pf	アルペジオ奏法	アルペジオ奏法を習得できる		
6	楽器レッスン②	基礎練習をする①	Da	ジャンル	様々なジャンルのダンスを踊れる		
			Gt	メロディ演奏	メロディをスムーズに演奏できる		
			Pf	メロディ演奏	メロディをスムーズに演奏できる		
7	楽器レッスン③	基礎練習をする②	Da	ダンスボーカル	ダンスボーカルができる		
			Gt	弾き語り	ギターの弾き語りができる		
			Pf	弾き語り	ピアノの弾き語りができる		
8	コーラス2①	英語のネイティブな発音について学ぶ	1	発音記号	英語の発音記号の種類を理解し発音ができる		
			2	口と喉の形	発音時の口と喉の形を意識できる		
			3	舌の動き	発音時の舌の動きを意識できる		
9	コーラス2②	コーラスラインの基本的な作り方と考え方を学ぶ	1	3度上/3度下	メロディに対して3度上/3度下のラインを作れる		
			2	コード構成音	メロディに対してコードの構成音を利用したラインを作れる		
			3	ユニゾン/オクターブ	ユニゾン/オクターブ上下のラインを作れる		
10	コーラス2③	コーラスラインのアイデアを学ぶ	1	字ハモ	メロディに対して字ハモでコーラスできる		
			2	カウンターライン	メロディに対してカウンターとなるラインを作れる		
			3	ウーアー	ウーアーなどを利用したラインを作れる		
			1	補正系	補正系エフェクトの使い方について理解できる		

11	オリジナル作品制作①	エフェクトを活用する	2	空間系	空間系エフェクトの使い方について理解できる		
			3	センドリターン	センドリターンの使い方について理解できる		
12	オリジナル作品制作②	エクスポートの種類を学ぶ	1	ファイル形式	ファイル形式の種類について理解できる		
			2	サンプリングレート	サンプリングレートの種類について理解できる		
			3	ビットレート	ビットレートの種類について理解できる		
13	オリジナル作品制作③	Real Dreamsに向けた音源を制作する	1	楽曲・オケ制作	Real Dreamsに向けた楽曲とオケを制作できる		
			2	歌詞作成	楽曲の歌詞を作成できる		
			3	レコーディング	レコーディングして音源を完成させられる		
14	発表会準備	発表会の準備をする	1	パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる		
			2	歌唱指導	歌唱について改善できる		
			3	オケ制作	使用するオケを制作、準備できる		
15	発表会	発表会を実施する	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等